



2年続きの大雪で、2月初めには、魚沼市に豪雪による災害救助法が適用され、各種の災害支援活動が展開されるようです。年度末まで2か月、雪に負けず健やかに子どもたちが成長することを願っています。

第3回 学校運営協議会が開かれました -令和8年2月3日-



今年度3回目の学校運営協議会が、会議室で開かれました(9:00~10:30)。学校運営協議会委員8名と藤田校長先生・金澤教頭先生の出席でした。

9:00~9:30…全学級の学習参観

9:30~10:30…協議(9月以降の教育活動紹介、学校評価、会計、情報交換)

1 全学級の参観

藤田校長先生、金澤教頭先生の引率により、出席した8名の委員は全学級の1時間目の学習を参観しました。時間は約30分程でしたので、“駆け足”で各教室を回ってきました。

一つ気付いた事を書きます。

■ 「複式指導」

桃組では、3年生と4年生が同じ国語でも全く違った内容の学習を行っていました。私たちが参観した時、教室の前半分では4年生の子どもたちと先生(と特別支援係)がやり取りしながら学習を進めており、一方、つい立てを距てた教室の後ろ半分では3年生の子どもたちが国語のテスト問題に挑戦していました。先生が付いていない3年生でしたが、黙々と問題を解いていました。



このように、一つの教室で一人の先生が二つの異なった学年・学習内容の指導を並行して行うことを、「複式指導(学習)」と言います。さらに、一方の学年で先生と子どもとが直接やり取りして行う指導を「直接指導」と言い、もう一方の先生が付かないで子どもだけで学習課題に取り組む指導を「間接指導」と言います。

複式指導では、先生は45分間の中で教室内を移動しながら「直接指導」と「間接指導」、時には両方の学年を一緒にした指導(一斉指導)を組合せながら進めていきます。

例えば、次のようなやり方です。

時間	0分	5	20	30	40	45
3年生	一斉指導 (学習のめあて 確認)	直接指導(文章の読み取り活動)	間接指導(感想文を書く)	直接指導(感想文の発表)	一斉指導 (まとめ)	
4年生		間接指導(漢字練習)	直接指導(文章の読み取り活動)	間接指導(感想文を書く)		

このように、複式指導は教える内容が2倍になり、直接指導と間接指導の組合せ方も工夫が必要で難しいのですが、子どもにとっては次のような利点もあります。

- ① 間接指導中は、先生を介さずに出された課題を解く時間のため、先生に頼らずに自力で課題を解決しようとする態度や能力が育ちます。
- ② 間接指導中にはもう一方の学年の学習内容が自然と目や耳に入ります。これは、上の学年の子にとっては『復習』になり、下の学年の子にとっては『予習』になります。
- ③ 異学年が同じ教室で学ぶ中で、先輩・後輩を互いに思いやる好ましい人間関係が育ちます。

2 9月以降の子どもたちと地域住民とのかかわりについて（校長先生の説明より）

■ 「お神送り」の日の「学習成果発表」

悪天候のことも考慮して、今年度は堀小の体育館で1・2・6年生がそれぞれブースを出して学習成果の発表。大勢の保護者の方や地域の方がお出でになったそうです。

■ 「書初め学習支援ボランティア」

3年生以上の12～1月の「書写」の時間は「書初め」です。これに「毛筆支援ボランティア」として地域の方々が何人かお出で下さり、子どもたちの学習や準備・片付けなどに支援をいただいたそうです。



■ 「魚沼芸能祭」…11月1日（金）

3年生は響きの森文化会館「魚沼芸能祭」で、「大の阪」を宇賀地小・堀中と合同で発表したそうです。

3 情報交換の概要

【 後期学校評価の結果から 】

Q1：「PTAは少子化、働き方改革の点から『必要ない』」という意見がありました…。

A：PTA役員会では、そのような声は聞きません。毎年、活動の改善を図っています。（松井委員：P会長）

Q2：「水泳、スキー授業は気候の変化に伴い、『必要ない』」という意見がありました…。



A：水泳は「学習指導要領」に載っているので実施しなくてはなりません。スキーは「地域の実情に応じて実施するように」となっています。雪国ならではの学習なので、継続したいです（藤田校長）。この地域の文化の一つとしてスキーは経験できた方が良く、機会はぜひ必要だと思います。（高橋副会長）

A：クカンスキー用具の保護者負担が大きいという意見が役員会では出ましたね。（松井委員）



【 どんど焼きについて 】

Q：やぐらに使う竹の伐採・運搬作業が大変。竹に代わる材料を模索しては？

A：小ぶりの竹にするとか、やぐらの規模を小さくする方法もあります。運搬用トラックや作業スタッフは今後も何とか確保できそうなので、関係者で一度相談する必要があります。（高橋副会長）



【 学校だより、学年だより、学校運営協議会通信について 】

○：学校だよりは内容が素晴らしい。学年だよりを「テトル」で発信したことは概ね好評です。（林委員）

○：学校だよりや学校運営協議会通信も、紙面だけでなく、学校HPや「テトル」など色々な方法で発信していきます。（藤田校長、金澤教頭）

【 学校運営協議会の委員メンバーの選任について 】

Q：3月末で2期目の任期（2年間）が終わります。新たなメンバーを入れ替えていくことで、活動に新鮮さが出ると思うのですが…。（A委員）

A：お仕事の関係でなかなか出席できない方もおられますが、可能な限り再任を希望していただくと有難いです。2月末には退任・再任の意思を確認させていただきます。（金澤教頭）

※ お知らせ

【 高学年のミシ学習への支援人材について 】

当初、3学期のミシ学習に某縫製会社の従業員何名かの方から支援に来ていただく予定でしたが、豪雪の影響もあり、残念ながら今年度は実施できなくなりました。

来年度は、時期を変更して実施する方向で調整しています。

